

患者意識調査

～2024 年度～

2025/01/31

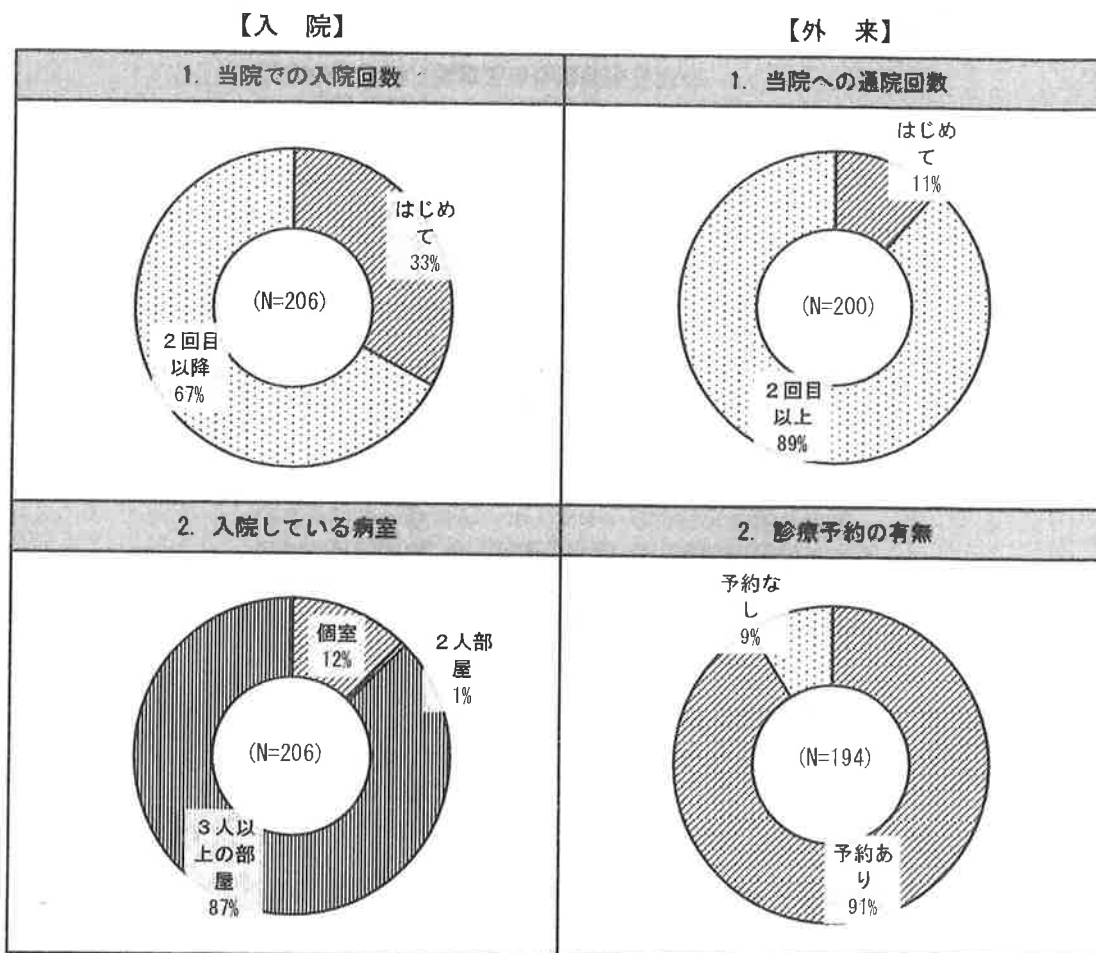
横須賀共済病院

地域連携センター 地域連携室

問 1 【入院】 【外来】	問 1 あなた自身のことについて教えてください。
	【入院】 1. 当院での入院回数について 2. 入院している病室について 【外来】 1. 当院への通院回数について 2. 本日の診療予約の有無について

アンケート回収状況

	配布数	回収数	回収率(%)	KKR全病院 平均回収率(%)
入院	350	229	65.4	69.9
外来	400	210	52.5	86.3



※このページのグラフは当院における今回のアンケートの回収状況、および患者の入院・通院状況を示している。比率の算出にあたっては無回答者を除外している。

【回収状況】
 アンケート回収数は、入院患者229件、外来患者210件となっている。アンケート配布数に対する回収率は、入院=65.4%、外来=52.5%となっている。

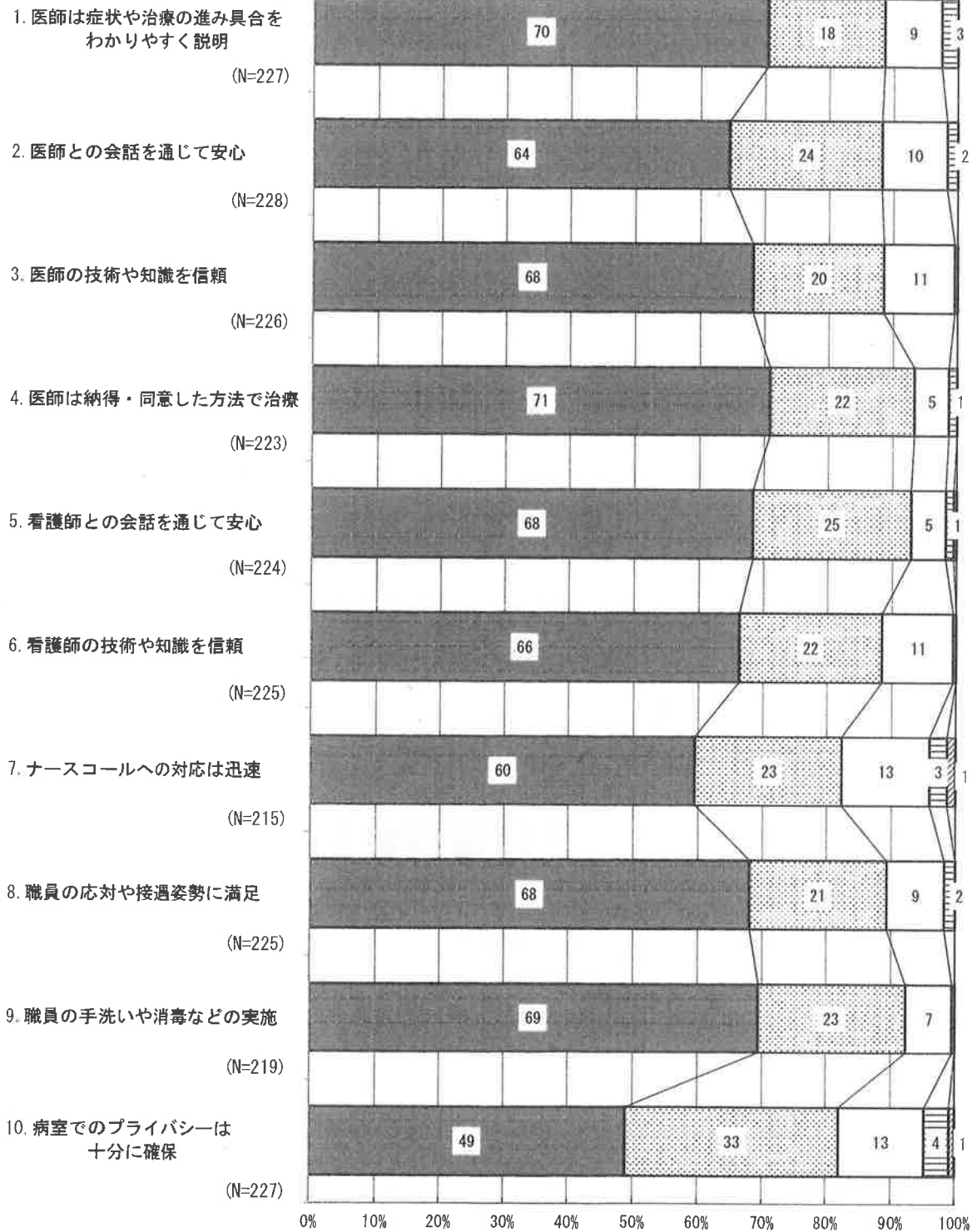
【入院・通院状況】
 入院患者の入院回数では、「はじめて」が33%、「2回目以降」が67%となっている。病室形態では、「3人以上の部屋」が87%となっている。
 外来患者の通院回数では、「2回目以上」が89%となっており、診療予約の有無は、「予約あり」が91%となっている。

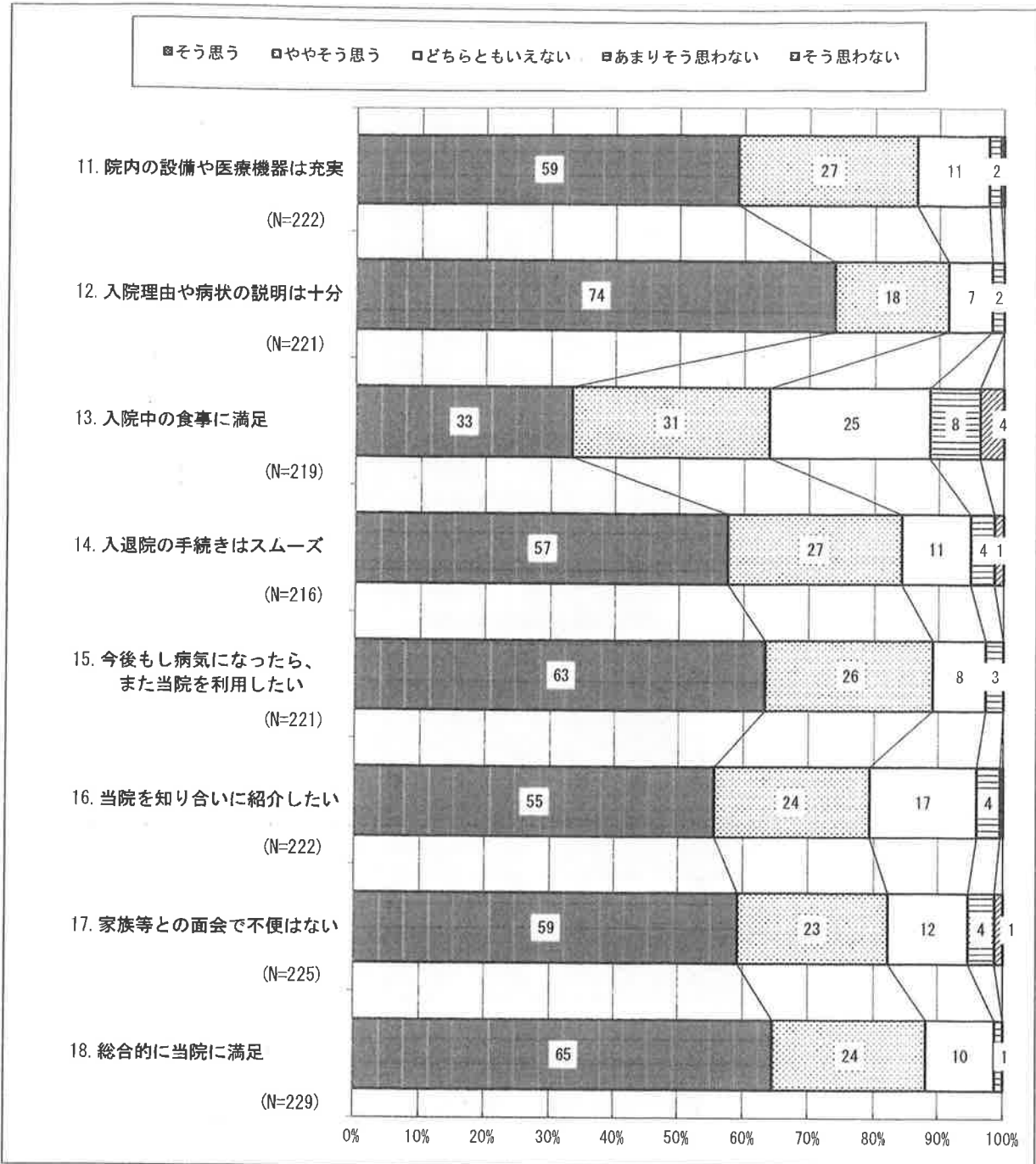
問2

【入院】

問2 当院に対する評価について教えてください。【入院】問1～18

■ そう思う ■ ややそう思う □ どちらともいえない ■ あまりそう思わない □ そう思わない





※このページおよび前ページのグラフは、当院の職員、医療設備等に対する入院患者の満足度、および総合的満足度を示している。比率の算出にあたっては、無回答者を除外している。

【入院患者の総合的満足度】

入院患者の当院への総合的な満足度では、「そう思う」が65%、「ややそう思う」が24%であり、合計89%の入院患者が当院に対して総合的に満足している。これに対して、「あまりそう思わない」が1%、「そう思わない」は0%となっている。

【入院患者の個別設問】

満足度がもっとも低い設問は「入院中の食事に満足」になっている。「そう思う」「ややそう思う」は合計64%であり、「あまりそう思わない」「そう思わない」が合計12%となっている。

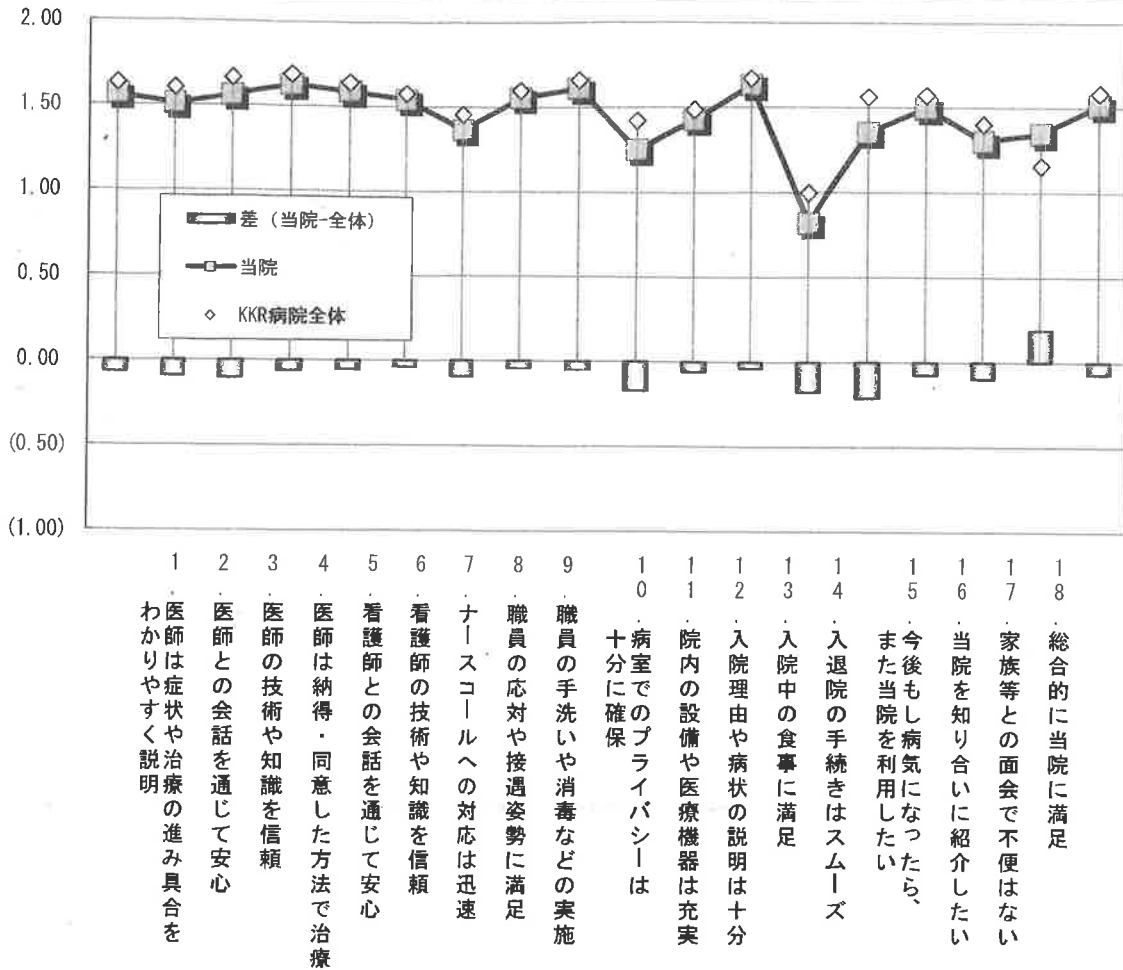
【ポイント：総合的満足度】

「総合的に当院に満足」について、「そう思う」が65%、「ややそう思う」が24%で、合計89%が満足となっており、入院患者の総合的満足度はやや高いと考えられる。時系列比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が、昨年と比べて低い水準の結果となっており、注意が必要であると考えられる。

問2

【入院】

問2 当院に対する評価について教えてください。【入院】問1～18



※このグラフでは、次の点数を当てはめて当院、KKR病院全体の回答を数値化し、その結果と両者の差を表示している。
 そう思う=2 ややそう思う=1 どちらともいえない=0 あまりそう思わない=-1 そう思わない=-2

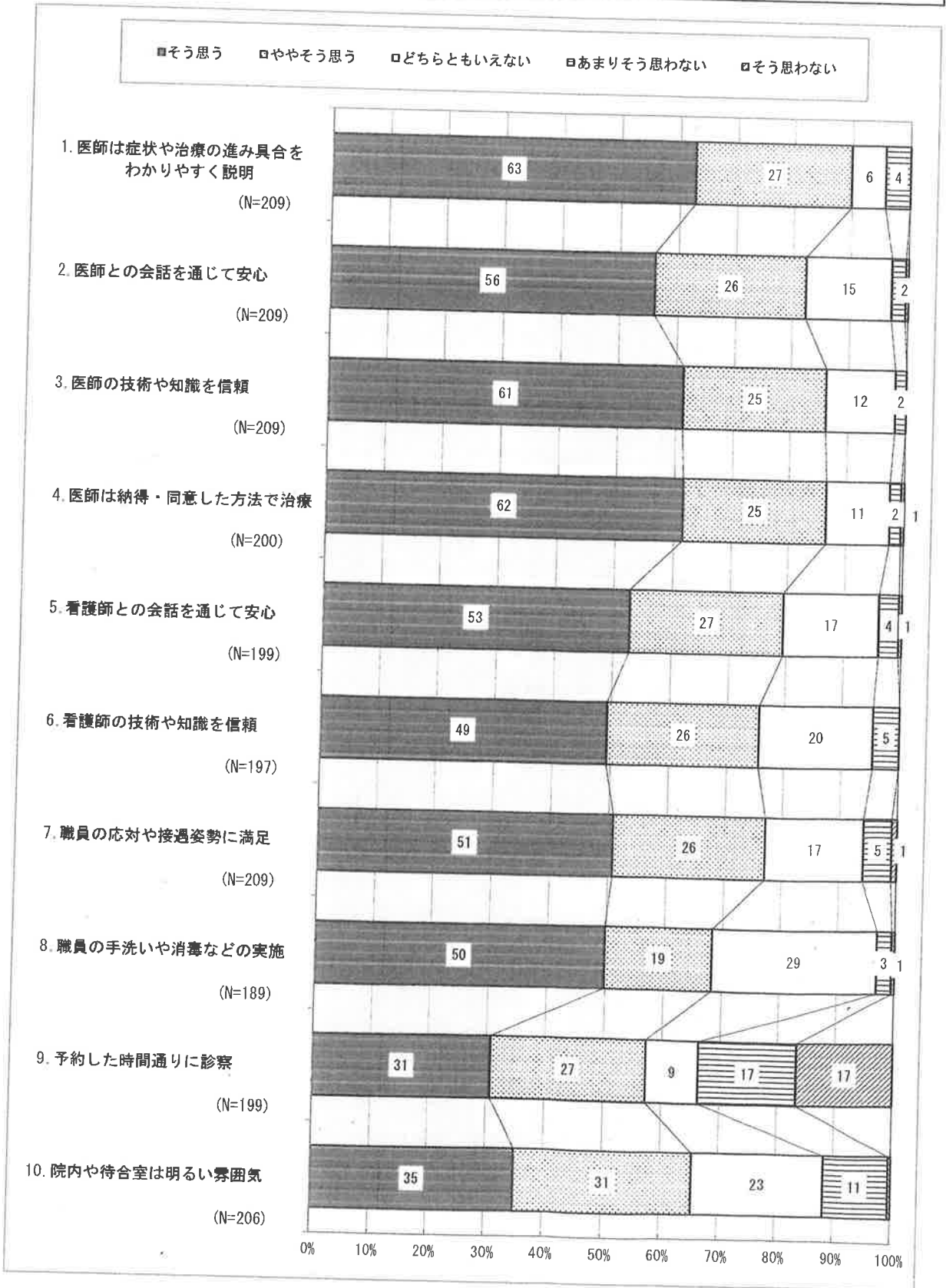
※このページのグラフは、各設問別に見た入院患者の「満足度」を数値化したうえで、当院とKKR病院全体とを比較している。この場合、「差」の棒グラフの数値が正であれば、当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。

【KKR病院全体との比較（入院患者の総合的満足度）】
 入院患者の当院への総合的な満足度は、KKR病院全体とほぼ同水準となっている。

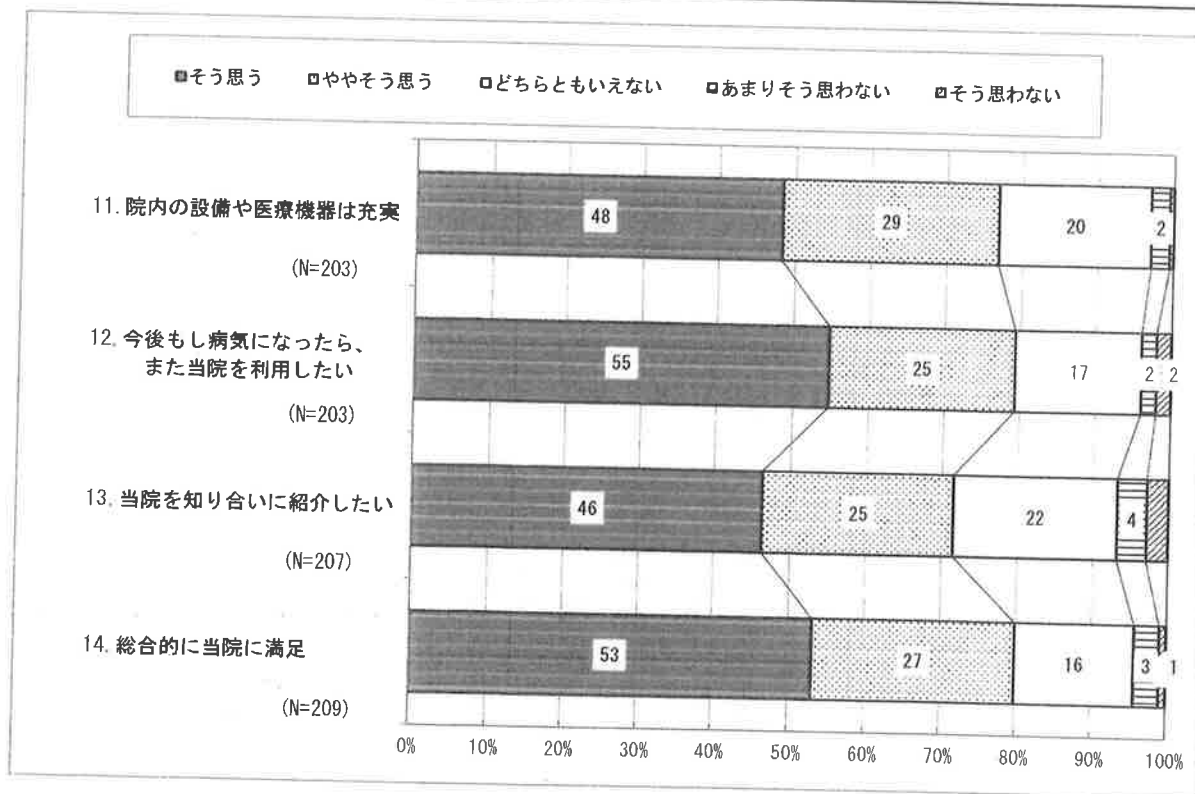
【KKR病院全体との比較（入院患者の個別設問）】
 入院患者の個別設問では、「家族等との面会で不便はない」の設問でKKR病院全体をやや上回っている。一方、「病室でのプライバシーは十分に確保」「入院中の食事に満足」「入退院の手続きはスムーズ」なの設問はKKR病院全体をやや下回っている。

【ポイント：個別設問】
 個別設問では、「家族等との面会で不便はない」の設問はKKR病院全体と比較してやや上回っており、今後さらに伸ばしたい強みと考えられる。時系列比較でも、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が、2023年の77%から2024年の82%へ増加しており、良い傾向と考えられる。引き続き、現在の取り組みを継続することが期待される。一方、「病室でのプライバシーは十分に確保」「入院中の食事に満足」「入退院の手続きはスムーズ」の設問はKKR病院全体をやや下回っているため、注意が必要である。

問2 当院に対する評価について教えてください。 【外来】問1～14



問2
【外来】 問2 当院に対する評価について教えてください。 【外来】問1～14



※このページおよび前ページのグラフは、当院の職員、医療設備等に対する外来患者の満足度、および総合的満足度を示している。比率の算出にあたっては、無回答者を除外している。

【外来患者の総合的満足度】

外来患者の当院への総合的な満足度では、「そう思う」が53%、「ややそう思う」が27%であり、合計80%の外来患者が当院に対して総合的に満足している。これに対して、「あまりそう思わない」が3%、「そう思わない」は1%となっている。

【外来患者の個別設問】

満足度がもっとも低い設問は「予約した時間通りに診察」になっている。「そう思う」「ややそう思う」は合計58%であり、「あまりそう思わない」「そう思わない」が合計34%となっている。

【ポイント：総合的満足度】

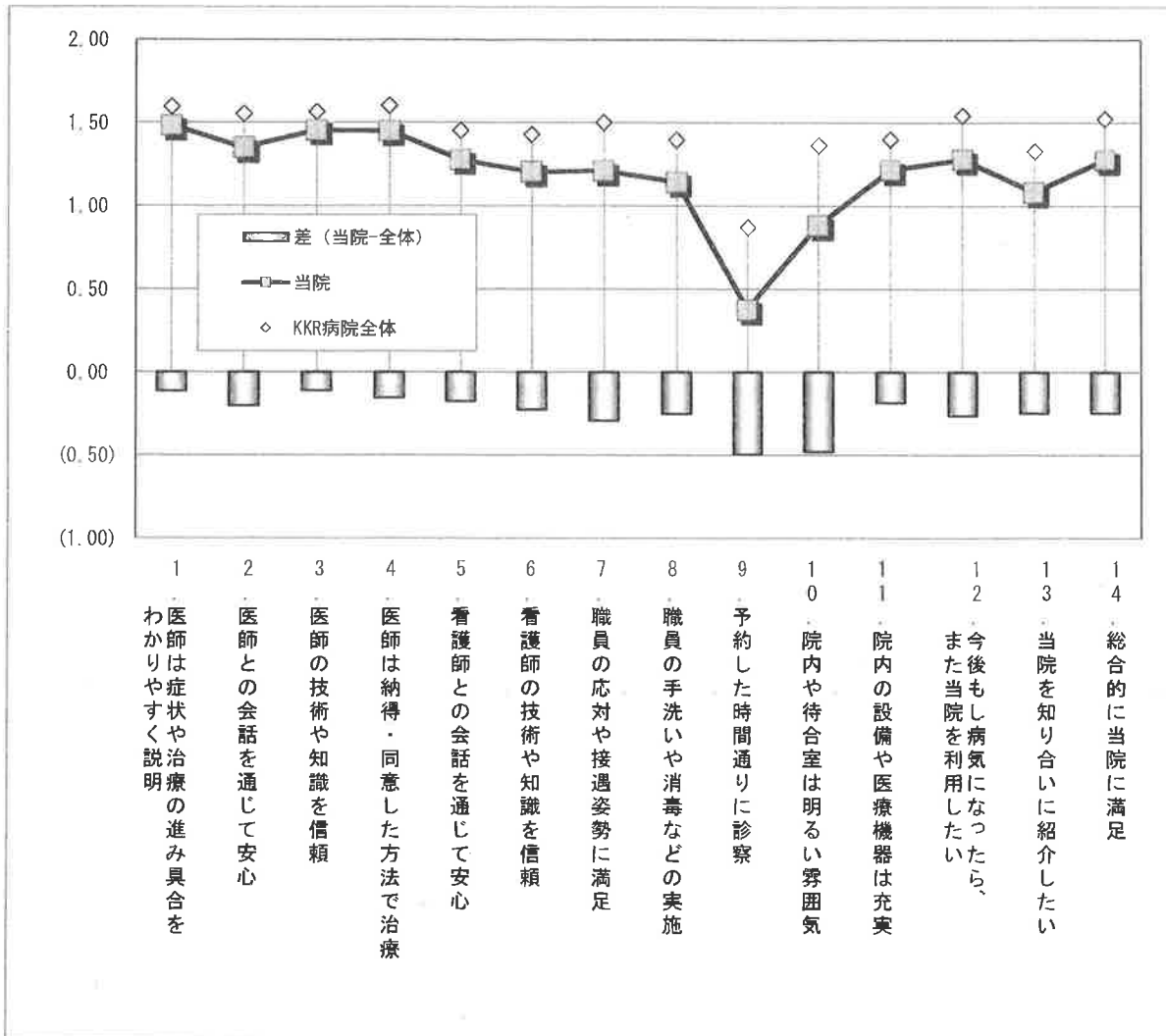
「総合的に当院に満足」について、「そう思う」が53%、「ややそう思う」が27%で、合計80%が満足となっており、外来患者の総合的満足度はやや低いと考えられる。時系列比較では、目立った変化はなく、総合的満足度はやや低い水準が続いており、改善が必要と考えられる。

問2

【外来】

問2 当院に対する評価について教えてください。

【外来】問1～14



※このグラフでは、次の点数を当てはめて当院、KKR病院全体の回答を数値化し、その結果と両者の差を表示している。
 そう思う=2 ややそう思う=1 どちらともいえない=0 あまりそう思わない=-1 そう思わない=-2

※このページのグラフは、各設問別に見た外来患者の「満足度」を数値化したうえで、当院とKKR病院全体とを比較している。
 この場合、「差」の棒グラフの数値が正であれば当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、
 逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。

【KKR病院全体との比較（外来患者の総合的満足度）】

外来患者の当院への総合的な満足度は、KKR病院全体をやや下回っている。

【KKR病院全体との比較（外来患者の個別設問）】

外来患者の個別設問では、特に「職員の応対や接遇姿勢に満足」「予約した時間通りに診察」「院内や待合室は明るい雰囲気」「今後もし病気になったら、また当院を利用したい」の設問でKKR病院全体を下回っている。

【ポイント：個別設問】

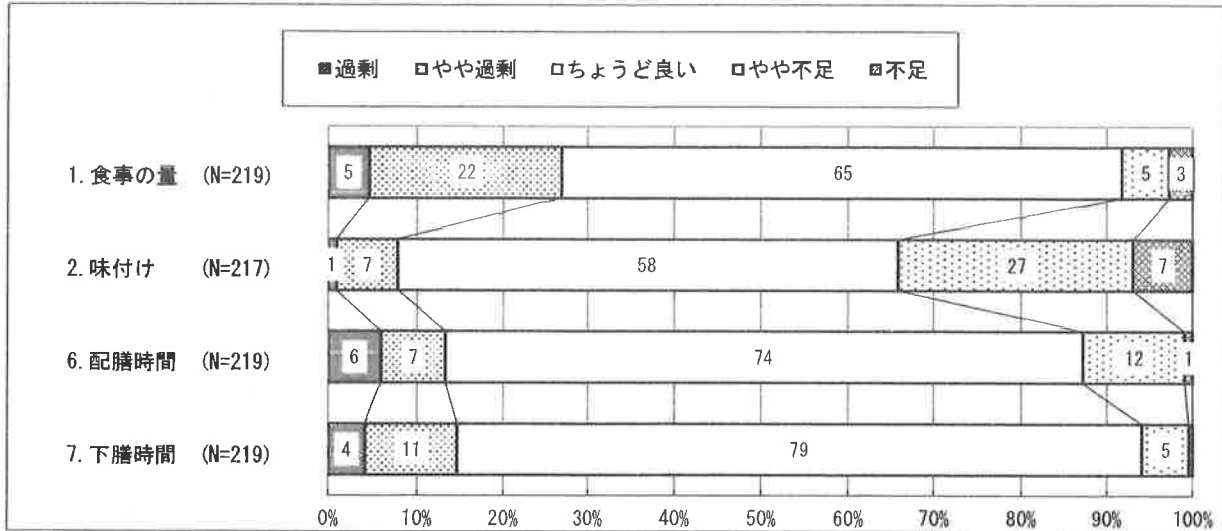
個別設問では、ほぼすべての設問においてKKR病院全体を下回っている。特に「予約した時間通りに診察」については、個別設問とKKR病院全体との比較の双方で満足度が低く、特に注意が必要と考えられる。時系列比較では、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が2023年の50%から2024年の58%へ増加している。また、「院内や待合室は明るい雰囲気」についても、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が増加しており、改善が見られることから良い傾向と考えられる。

問3

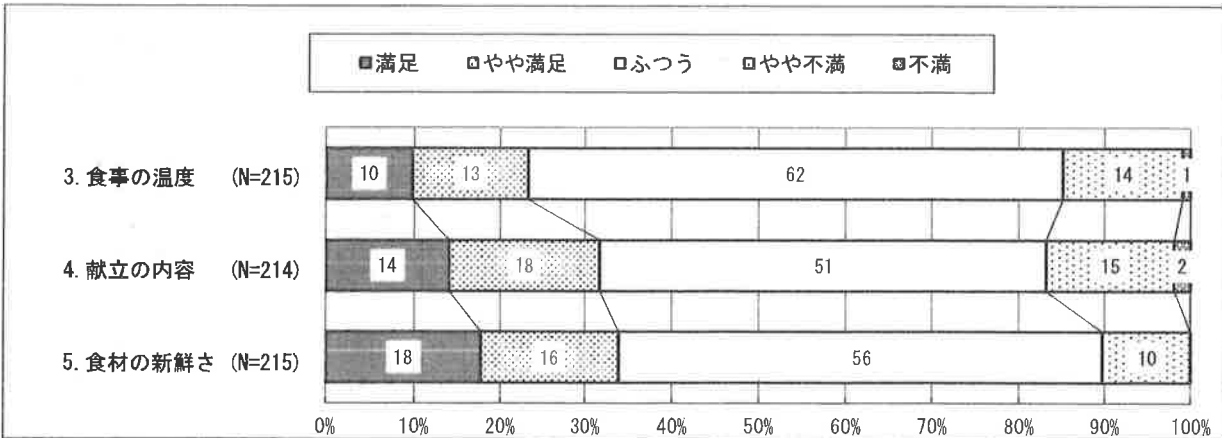
【入院】

問3 入院中の食事に対する具体的な評価について教えてください。

1. 食事の量 2. 味付け 3. 食事の温度
4. 献立の内容 5. 食材の新鮮さ 6. 配膳時間 7. 下膳時間



凡例の意味	過剰	やや過剰	ちょうど良い	やや不足	不足
1. 食事の量	多い	やや多い	ちょうど良い	やや少ない	少ない
2. 味付け	濃い	やや濃い	ちょうど良い	やや薄い	薄い
6. 配膳時間	早い	やや早い	ちょうど良い	やや遅い	遅い
7. 下膳時間	早い	やや早い	ちょうど良い	やや遅い	遅い



※このページのグラフは当院の食事に対する入院患者の評価を示している。比率の算出にあたっては、無回答者を除外している。

【入院中の食事】

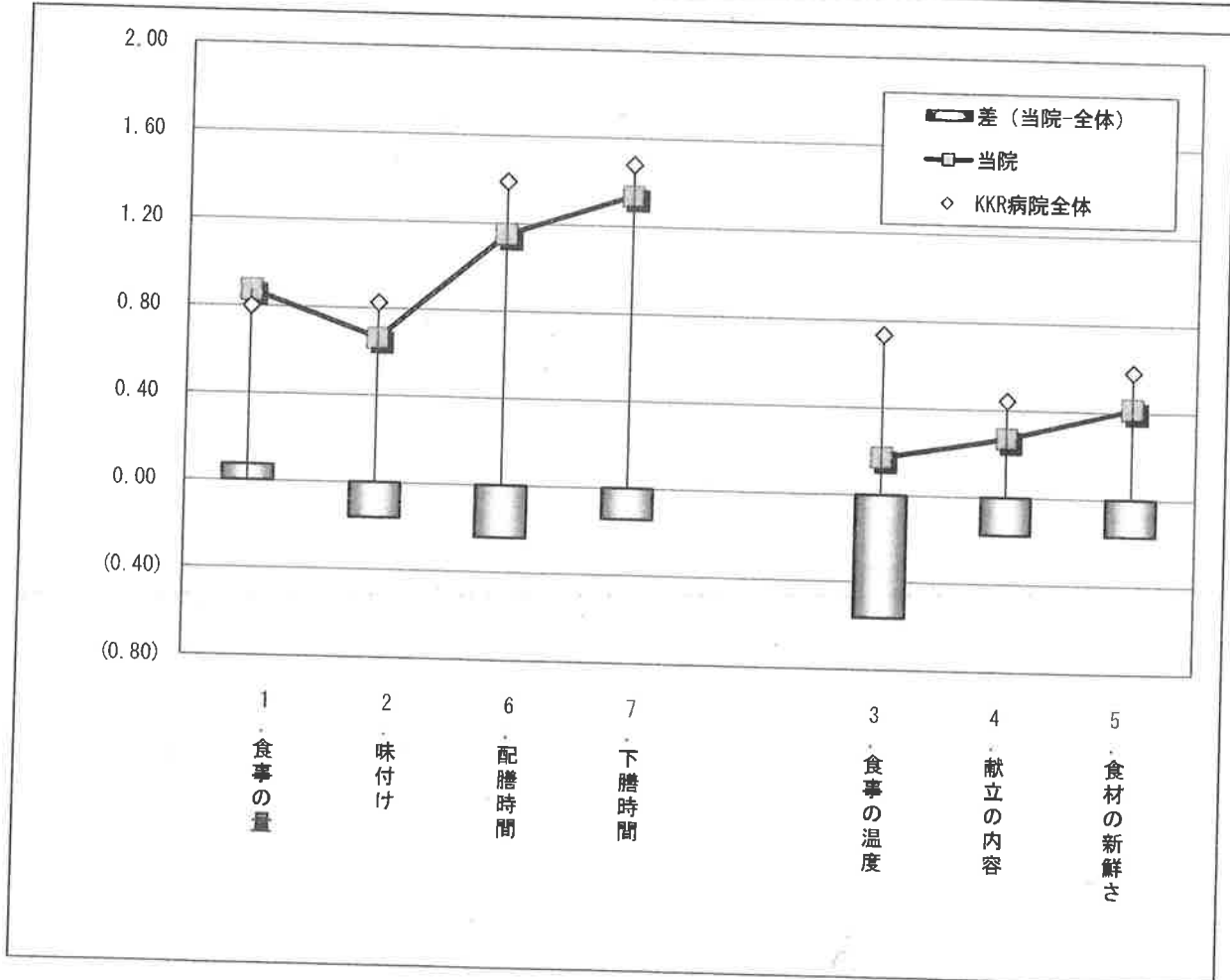
設問「食事の量」「味付け」「配膳時間」「下膳時間」のうち、「ちょうど良い」がもっとも多い設問は「下膳時間」であり、79%となっている。一方、「ちょうど良い」がもっとも少ない設問は「味付け」であり、58%となっている。

設問「食事の温度」「献立の内容」「食材の新鮮さ」のうち、「満足」「やや満足」がもっとも少ない設問は「食事の温度」であり、合計が23%となっている。一方、「不満」「やや不満」がもっとも多い設問が「献立の内容」であり、合計が17%となっている。

問3 入院中の食事に対する具体的な評価について教えてください。

【入院】

1. 食事の量 2. 味付け 3. 食事の温度
4. 献立の内容 5. 食材の新鮮さ 6. 配膳時間 7. 下膳時間



※このグラフでは、次の点数を当てはめて当院、KKR病院全体の回答を数値化し、その結果と両者の差を表示している。

- 1) 食事の量、味付け、配膳・下膳時間
過剰=-2 やや過剰=-1 ちょうど良い=2 やや不足=-1 不足=-2
 - 2) 食事の温度、献立の内容、食材の新鮮さ
満足=2 やや満足=1 ふつう=0 やや不満=-1 不満=-2
- 1)と2)では数値化の手法が異なるので留意が必要である。

※このページのグラフは、各設問別に見た入院患者の食事に対する「評価」を数値化したうえで、当院とKKR病院全体とを比較している。この場合、「差」の棒グラフの数値が正であれば、当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。

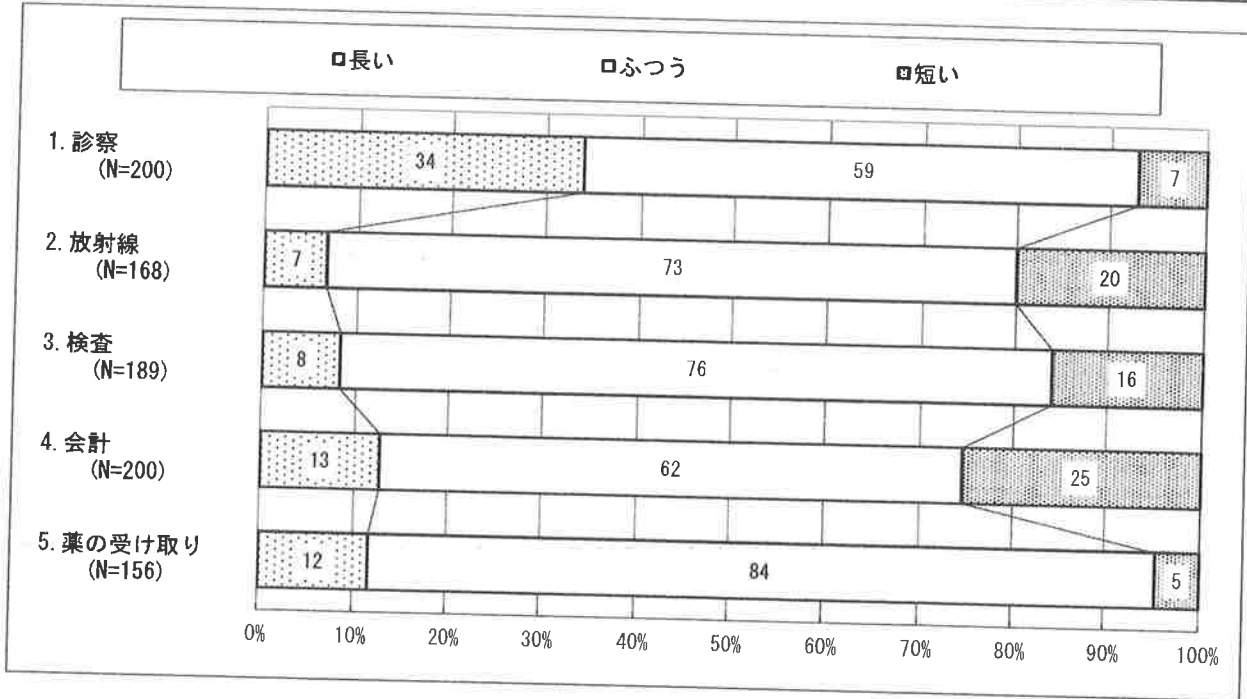
【KKR病院全体との比較（入院患者の食事）】

入院中の食事に関しては、特に「食事の温度」の設問がKKR病院全体を下回っている。

【ポイント】

入院中の食事に関しては、特に「食事の温度」の設問がKKR病院全体を下回っている。時系列比較では、「配膳時間」「下膳時間」の「ちょうど良い」の回答割合がそれぞれ、2023年の80%、91%から2024年の74%、79%に減少しているため、改善が必要である。

問3
【外来】
 問3 それぞれの待ち時間について、どのように感じられますか。
 1. 診察 2. 放射線 3. 検査 4. 会計 5. 薬の受け取り



※このページのグラフは、当院の待ち時間に対する外来患者の評価を示している。比率の算出にあたっては、非利用者および無回答者を除外している。

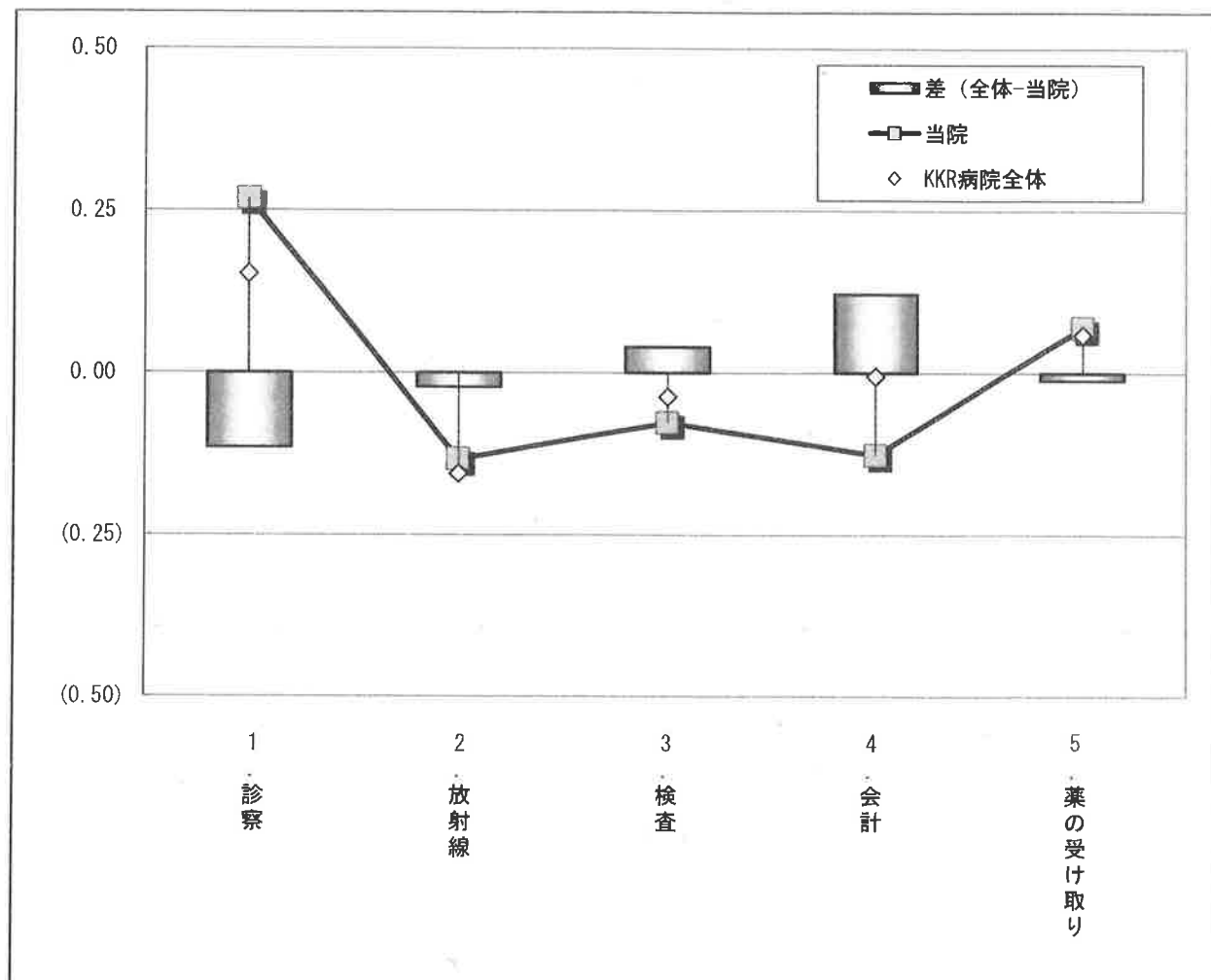
【外来患者の待ち時間】
 待ち時間に関する設問のうち、「短い」の回答がもっとも多い設問は「会計」であり、25%となっている。一方、「長い」の回答がもっとも多い設問は「診察」であり、34%となっている。

問3

【外来】

問3 それぞれの待ち時間について、どのように感じられますか。

1. 診察 2. 放射線 3. 検査 4. 会計 5. 薬の受け取り



※このグラフでは、次の算式で本院、KKR病院全体の回答を数値化し、その結果と両者の差を表示している。
 (「待ち時間が長い」 - 「短い」) / 回答者数 (非利用者および無回答者を除く)

※このページのグラフは、各設問別に見た外来患者の待ち時間に対する「評価」を数値化したうえで、本院とKKR病院全体とを比較している。この場合、「差」の棒グラフの数値が正であれば、本院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば本院の評価が低いことを意味する。

【KKR病院全体との比較（外来患者の待ち時間）】

外来患者の待ち時間に関しては、すべての設問においてKKR病院全体とほぼ同水準となっている。

【ポイント】

外来患者の待ち時間に関しては、すべての設問においてKKR病院全体とほぼ同水準となっている。時系列比較では、「放射線」の「短い」の回答割合が2023年の27%から2024年の20%に減少しているため、改善が必要である。

問 4

問 4 職員の接遇態度に関して改善する必要があると思う項目
すべてにマークをつけてください。

【入院】

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. X線技師(レントゲン撮影等)
5. 検査技師(心電図、超音波検査) 6. リハビリ 7. 事務員

1. 改善要望率

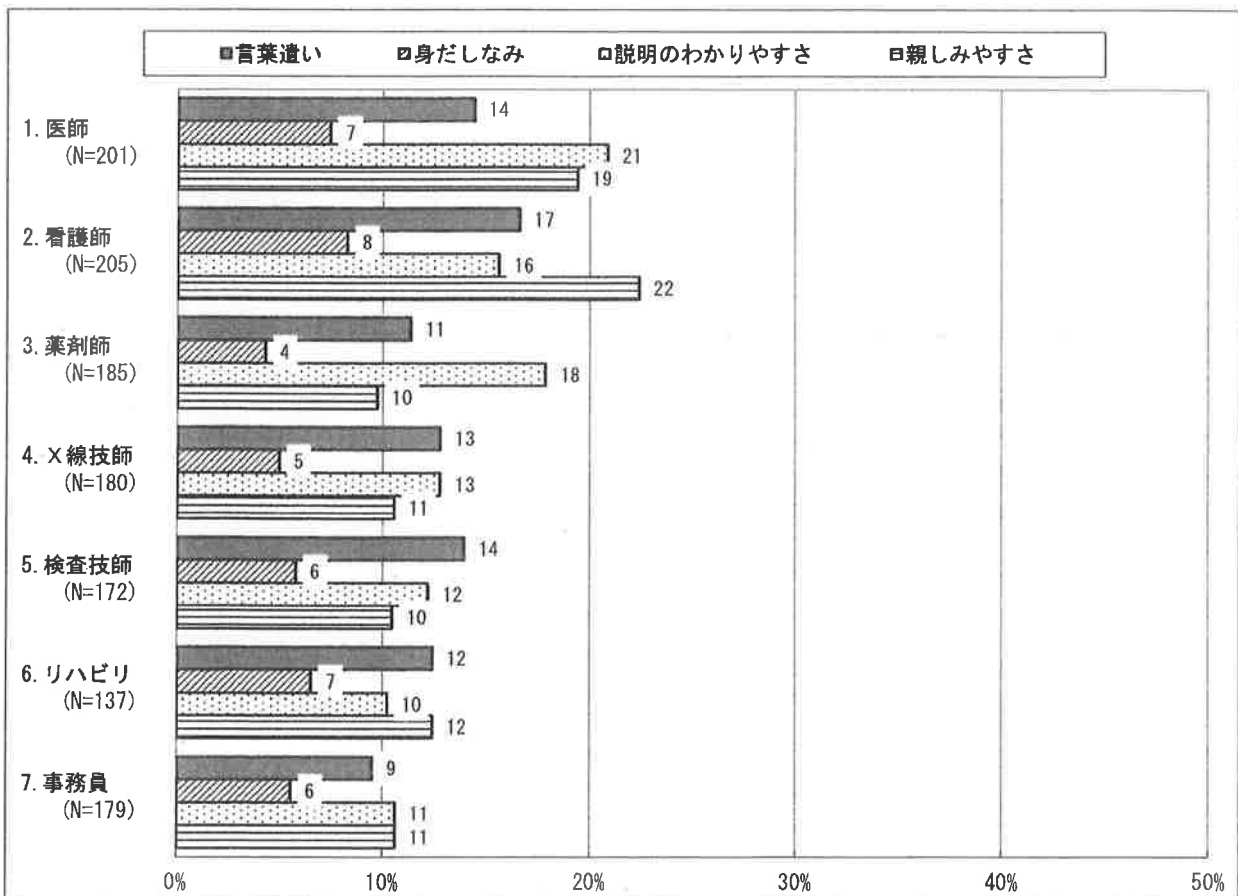
この設問は、複数回答可となっているため、ここでは、まず改善要望として何らかの項目を選んだ回答者の割合を記載している。これを、改善要望率とした。改善要望率の計算式は次の通り。

$(N - \text{特になし件数}) / N$

1. 医師	2. 看護師	3. 薬剤師	4. X線技師	5. 検査技師	6. リハビリ	7. 事務員
35.3%	31.7%	27.6%	25.0%	25.0%	24.8%	22.9%

2. 改善要望内訳

このページのグラフは、改善要望の内訳を示している。グラフに表示されている割合は、有効回答数（回収数から無回答を除いた数=N）に対する割合とした。※「特になし」の表示は割愛。



※このページのグラフは、入院患者に対し、「言葉遣い」や「親しみやすさ」などの接遇態度について、改善すべき点についての職種別の結果を示している。比率の算出にあたっては、無回答者を除外している。

【入院患者からの接遇態度に関する改善要望】

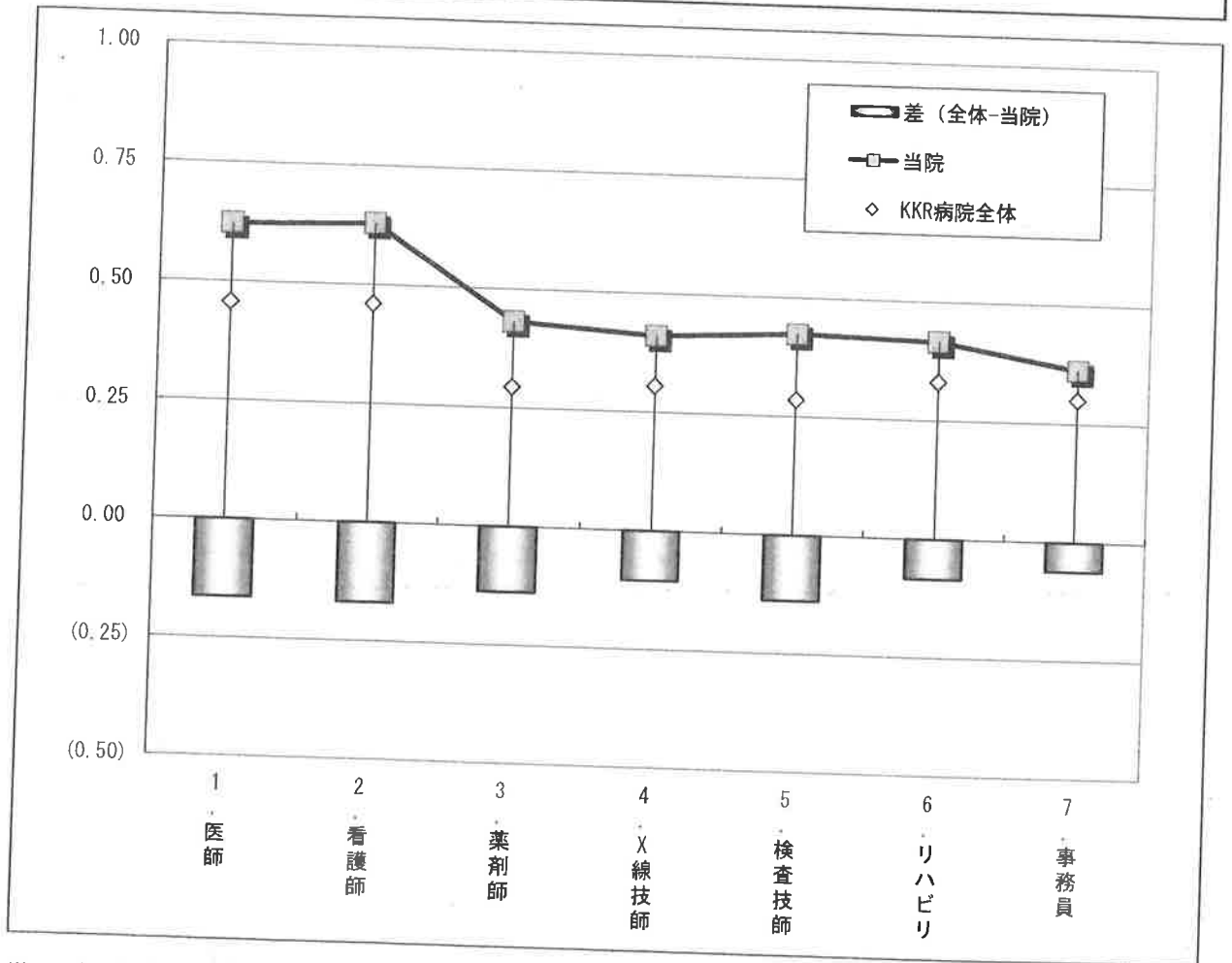
「どれくらいの割合の人が接遇に対して改善を求めているかを表す改善要望率を見ると、「医師」が35.3%であり、何らかの改善を求めている患者の割合が高くなっている。また、「看護師」もやや高くなっており、31.7%となっている。もっとも改善要望が多い内訳は「医師」が「説明のわかりやすさ」で21%、「看護師」が「親しみやすさ」で22%となっている。

問4

【入院】

問4 職員の接遇態度に関して改善する必要があると思う項目すべてにマークをつけてください。

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. X線技師(レントゲン撮影等)
5. 検査技師(心電図、超音波検査) 6. リハビリ 7. 事務員



※このグラフでは、次の算式で当院、KKR病院全体の回答を数値化し、その結果と両者の差を示している。

$$\frac{\Sigma (\text{言葉遣い} + \text{身だしなみ} + \text{説明のわかりやすさ} + \text{親しみやすさ} \text{の回答数})}{\text{回答者数 (無回答者を除く)}}$$

※このページのグラフは、各設問別に見た入院患者の職員接遇に対する「改善要望」を数値化したうえで、当院とKKR病院全体とを比較している。この場合、「差」の棒グラフの数値が正であれば、当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。

【KKR病院全体との比較（入院患者からの接遇態度に関する改善要望）】
 接遇に対する改善要望は、KKR病院全体に比べて、特に「医師」、「看護師」、「薬剤師」、「検査技師」に対する改善要望がやや多くなっている。

【ポイント】

接遇態度について「医師」の改善要望率が35.3%と高くなっている。改善要望の内訳は「説明のわかりやすさ」と「親しみやすさ」がそれぞれ、21%と19%となっており、改善の必要があると考えられる。また、「看護師」の改善要望率も31.7%とやや高くなっている。KKR病院全体との比較では、特に「医師」、「看護師」、「薬剤師」、「検査技師」に対する改善要望がやや多くなっている。時系列比較では、「看護師」に対する改善要望率が、2023年の36.8%から、2024年の31.7%へ減少しており、良い傾向であると考えられる。

問 4 職員の接遇態度に関して改善する必要があると思う項目すべてにマークをつけてください。

【外来】

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. X線技師(レントゲン撮影等)
5. 検査技師(心電図、超音波検査) 6. リハビリ 7. 事務員

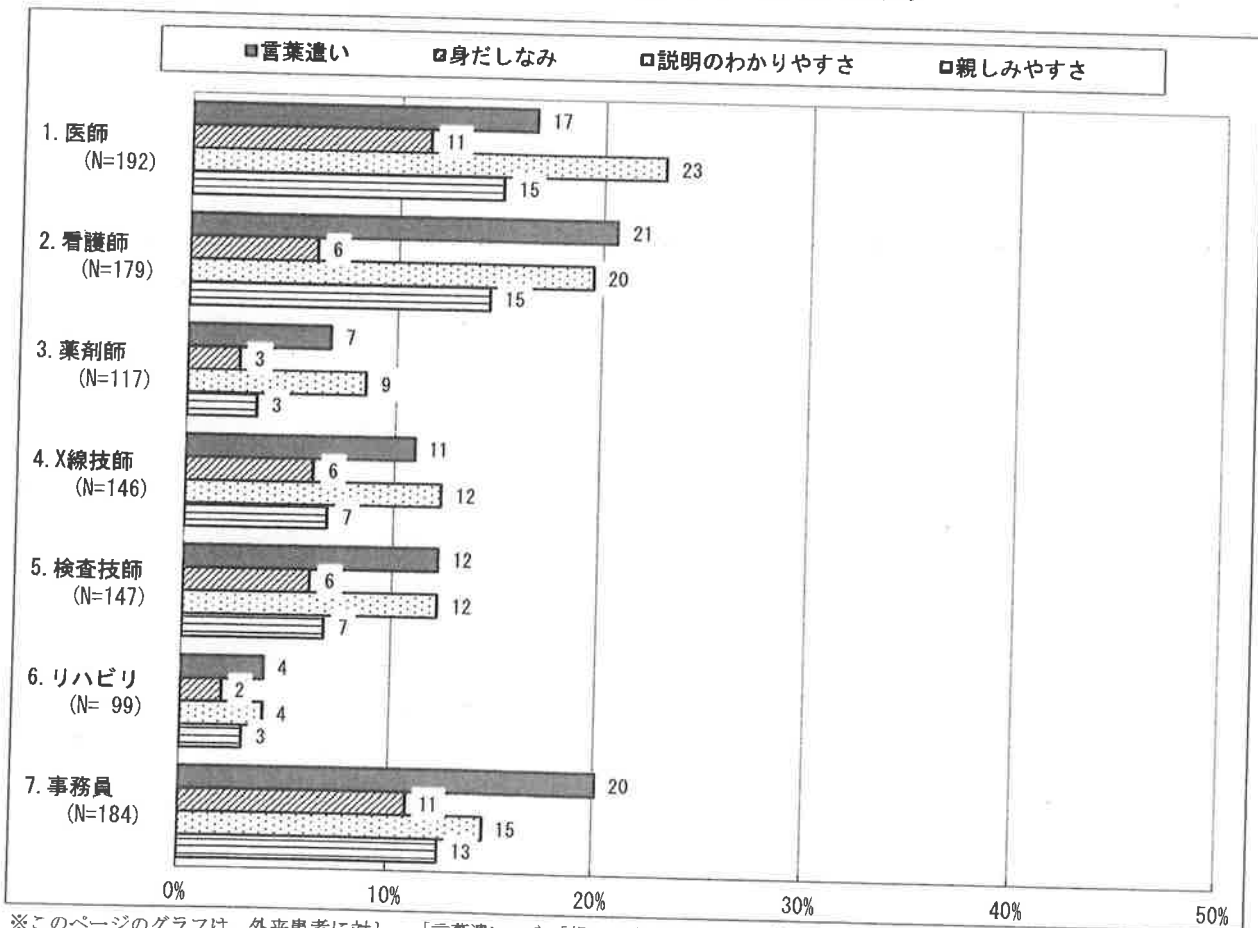
1. 改善要望率

この設問は、複数回答可となっているため、ここでは、まず改善要望として何らかの項目を選んだ回答者の割合を記載している。これを、改善要望率とした。改善要望率の計算式は次の通り。
(N-特になし件数) / N

1. 医師	2. 看護師	3. 薬剤師	4. X線技師	5. 検査技師	6. リハビリ	7. 事務員
40.6%	38.5%	13.7%	19.2%	21.1%	13.1%	39.1%

2. 改善要望内訳

このページのグラフは、改善要望の内訳を示している。グラフに表示されている割合は、有効回答数(回収数から無回答を除いた数=N)に対する割合とした。※「特になし」の表示は割愛。



※このページのグラフは、外来患者に対し、「言葉遣い」や「親しみやすさ」などの接遇態度について、改善すべき点についての職種別の結果を示している。比率の算出にあたっては、無回答者を除外している。

【外来患者からの接遇態度に関する改善要望】

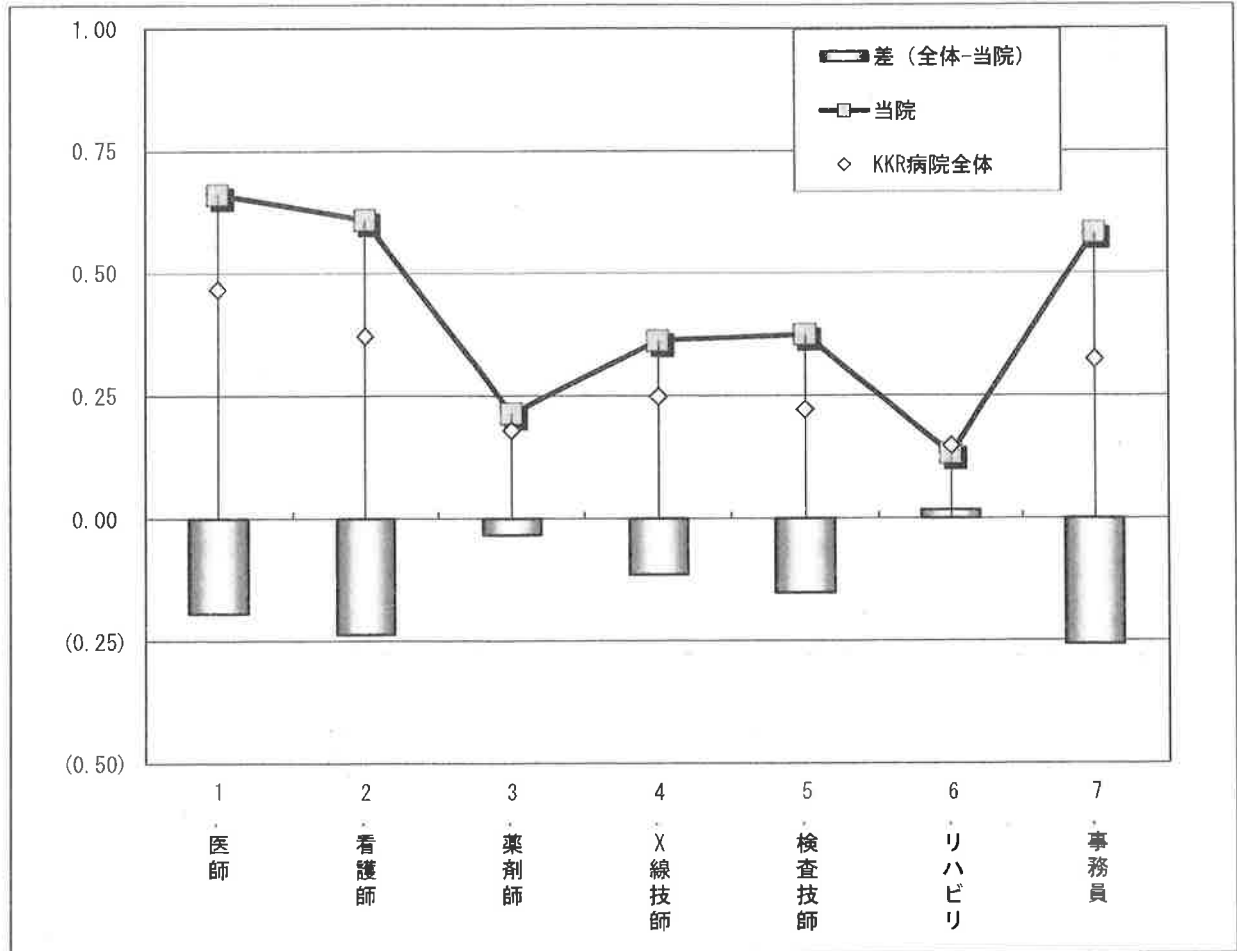
「どれくらいの人々が接遇に対して改善を求めているかを表す改善要望率を見ると、「医師」が40.6%であり、何らかの改善を求めている患者の割合が非常に高くなっている。また、「看護師」「事務員」も高くなっており、それぞれ38.5%と39.1%となっている。もっとも改善要望が多い内訳は、「医師」が「説明のわかりやすさ」で23%、「看護師」「事務員」が「言葉遣い」でそれぞれ21%と20%となっている。

問4

問4 職員の接遇態度に関して改善する必要があると思う項目
すべてにマークをつけてください。

【外来】

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. X線技師(レントゲン撮影等)
5. 検査技師(心電図、超音波検査) 6. リハビリ 7. 事務員



※このグラフでは、次の算式で当院、KKR病院全体の回答を数値化し、その結果と両者の差を表示している。

$$\Sigma (\text{言葉遣い} + \text{身だしなみ} + \text{説明のわかりやすさ} + \text{親しみやすさ} \text{の回答数}) / \text{回答者数 (無回答者を除く)}$$

※このページのグラフは、各設問別に見た外来患者の職員接遇に対する「改善要望」を数値化したうえで、当院とKKR病院全体とを比較している。この場合、「差」の棒グラフの数値が正であれば、当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。

【KKR病院全体との比較（外来患者からの接遇態度に関する改善要望）】

接遇に対する改善要望は、KKR病院全体に比べて、特に「事務員」が多くなっている。

【ポイント】

接遇態度について「医師」の改善要望率が40.6%と非常に高くなっている。改善要望の内訳は「説明のわかりやすさ」が23%となっており、改善の必要があると考えられる。また、「看護師」「事務員」の改善要望率もそれぞれ38.5%と39.1%で高くなっている。KKR病院全体との比較では、特に「事務員」に対する改善要望が多くなっている。時系列比較では、「薬剤師」「X線技師」に対する改善要望率が減少しており、良い傾向であると考えられる。

問5 施設等について改善する必要があると思う項目
すべてにマークをつけてください。

【入院】

1. トイレの環境 2. 洗面所の環境 3. 入浴室の環境 4. 病室の環境
5. 駐車場の環境 6. 携帯電話使用可能場所 7. デイルームの環境

1. 改善要望率

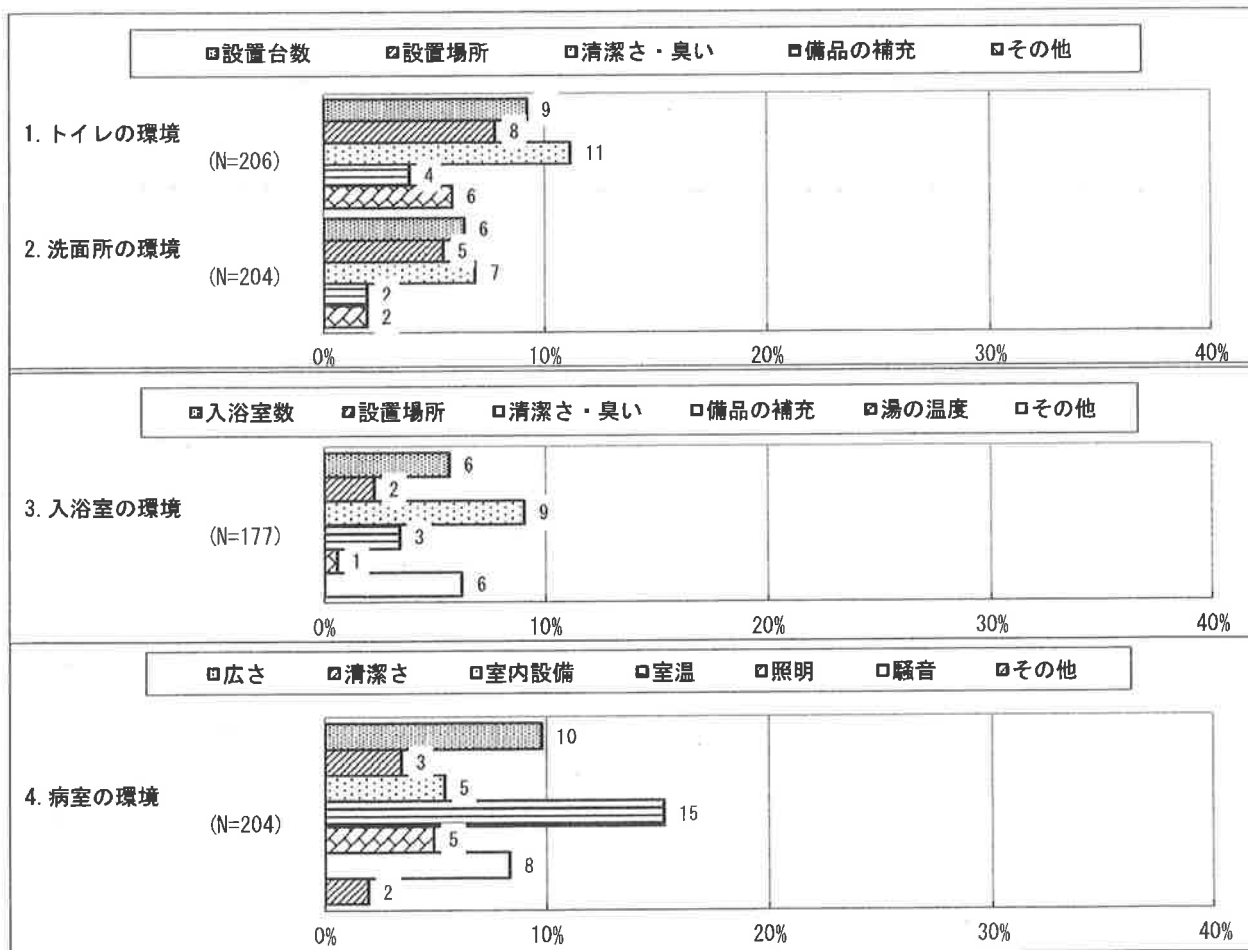
この設問は、複数回答可となっているため、ここでは、まず改善要望として何らかの項目を選んだ回答者の割合を記載している。これを、改善要望率とした。改善要望率の計算式は次の通り。

(N-特になし件数) / N

1. トイレの環境	21.4%	5. 駐車場の環境	28.3%
2. 洗面所の環境	14.7%	6. 携帯電話使用可能場所	18.3%
3. 入浴室の環境	16.9%	7. デイルームの環境	12.1%
4. 病室の環境	31.9%		

2. 改善要望内訳

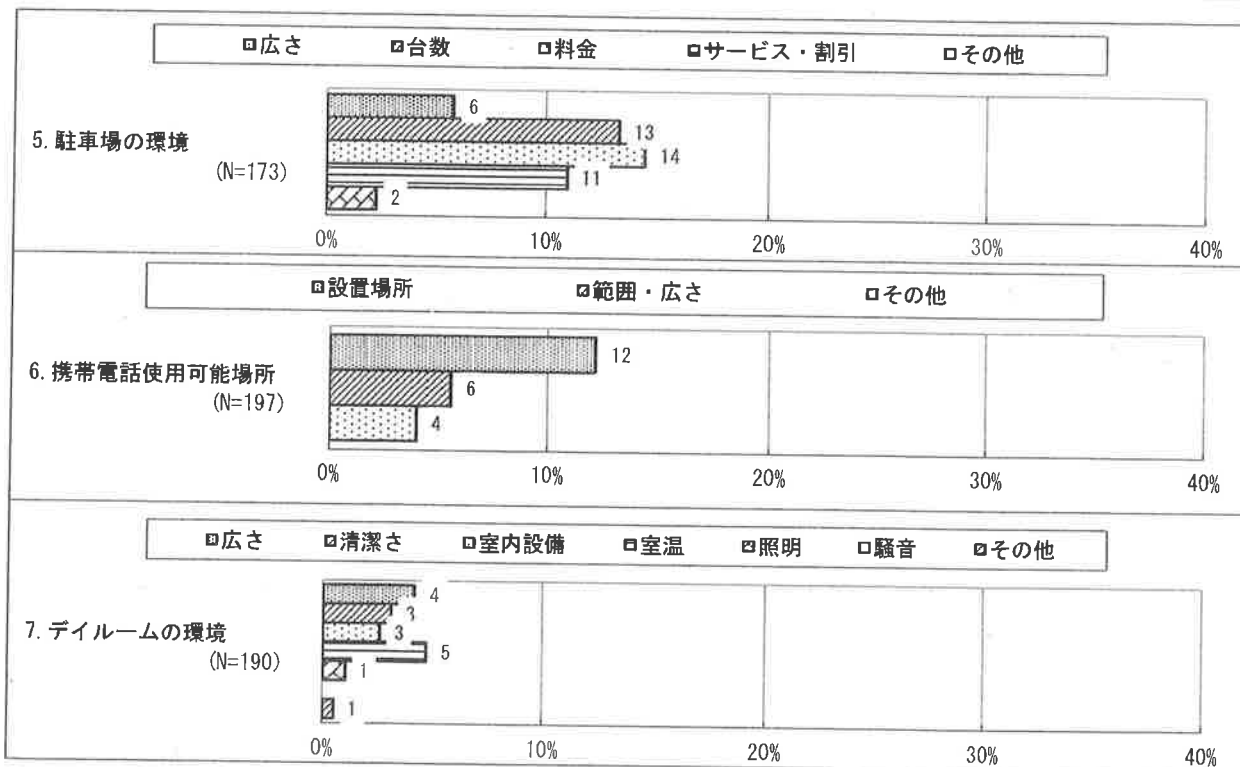
このページおよび次ページのグラフは、改善要望の内訳を示している。グラフに表示されている割合は、有効回答数（回収数から無回答を除いた数=N）に対する割合とした。※「特になし」の表示は割合。



問5 施設等について改善する必要があると思う項目すべてにマークをつけてください。

【入院】

1. トイレの環境 2. 洗面所の環境 3. 入浴室の環境 4. 病室の環境
 5. 駐車場の環境 6. 携帯電話使用可能場所 7. デイルームの環境



※このページおよび前ページのグラフは、入院患者に対し、施設等についての改善要望を質問した結果を示している。比率の算出にあたっては、無回答者を除外している。

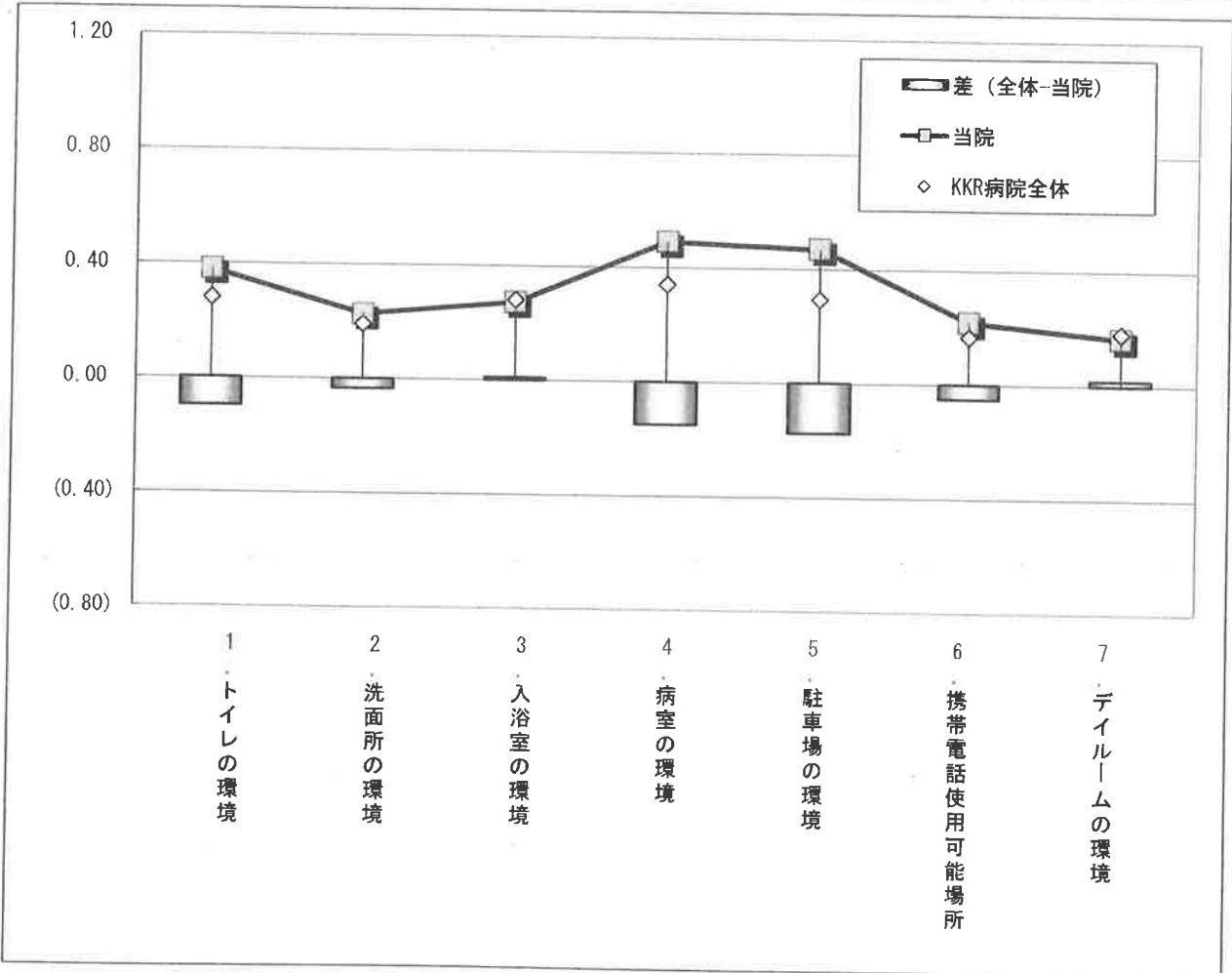
【入院患者からの施設等に関する改善要望】
 どれくらいの割合の人が施設等に対して改善を求めているかを表す改善要望率を見ると、「病室の環境」が31.9%であり、何らかの改善を求めている患者の割合がやや高くなっている。内訳を見ると、要望が特に多いと考えられる20%を上回るものはなかった。

問5

【入院】

問5 施設等について改善する必要があると思う項目
すべてにマークをつけてください。

1. トイレの環境 2. 洗面所の環境 3. 入浴室の環境 4. 病室の環境
5. 駐車場の環境 6. 携帯電話使用可能場所 7. デイルームの環境



※このグラフでは、次の算式で当院、KKR病院全体の回答を数値化し、その結果と両者の差を表示している。
 Σ (改善の必要ありの回答数) / 回答者数(無回答者を除く)

※このページのグラフは、各設問別に見た入院患者の施設等に対する「改善要望」を数値化したうえで、当院とKKR病院全体とを比較している。この場合、「差」の棒グラフの数値が正であれば、当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。

【KKR病院全体との比較（入院患者からの施設等に関する改善要望）】

施設等に関する改善要望は、KKR病院全体に比べて、特に「病室の環境」「駐車場の環境」がやや多くなっている。

【ポイント】

施設等に関する改善要望は、KKR病院全体に比べて、特に「病室の環境」「駐車場の環境」がやや多くなっている。改善要望率も「病室の環境」が31.9%ともっとも高く、注意が必要である。時系列比較では、「洗面所の環境」に対する改善要望率が、2023年の21.5%から、2024年の14.7%へ減少しており、良い傾向であると考えられる。

問5 【外来】	問5 施設等について改善する必要があると思う項目 すべてにマークをつけてください。
	1. トイレの環境 2. 売店のサービス 3. 院内案内表示 4. 駐車場の環境 5. 携帯電話使用可能場所

1. 改善要望率

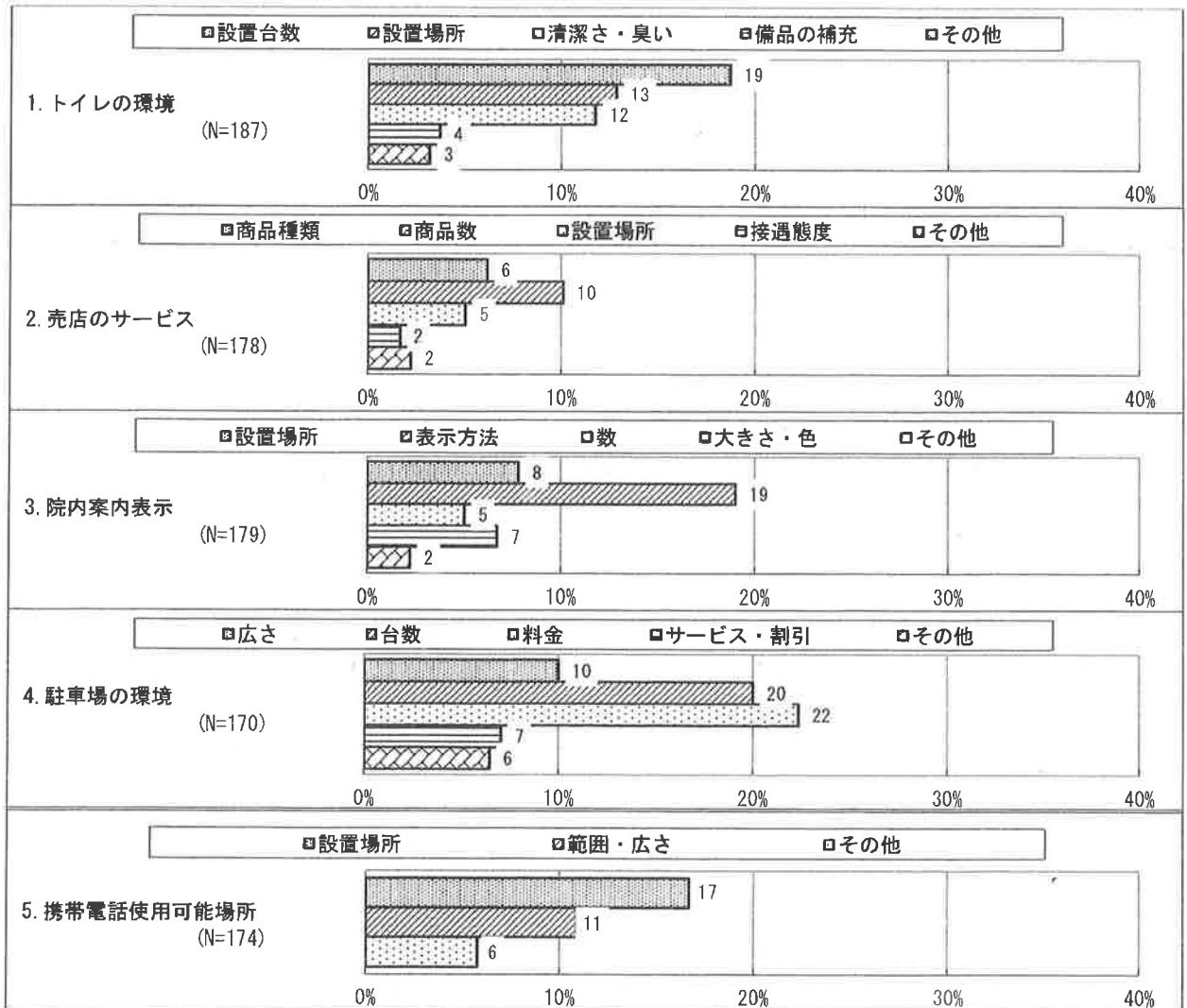
この設問は、複数回答可となっているため、ここでは、まず改善要望として何らかの項目を選んだ回答者の割合を記載している。これを、改善要望率とした。改善要望率の計算式は次の通り。

$$(N - \text{特になし件数}) / N$$

1. トイレの環境	37.4%	4. 駐車場の環境	45.3%
2. 売店のサービス	21.3%	5. 携帯電話使用可能場所	29.3%
3. 院内案内表示	25.1%		

2. 改善要望内訳

このページのグラフは、改善要望の内訳を示している。グラフに表示されている割合は、有効回答数（回収数から無回答を除いた数=N）に対する割合とした。※「特になし」の表示は割愛。



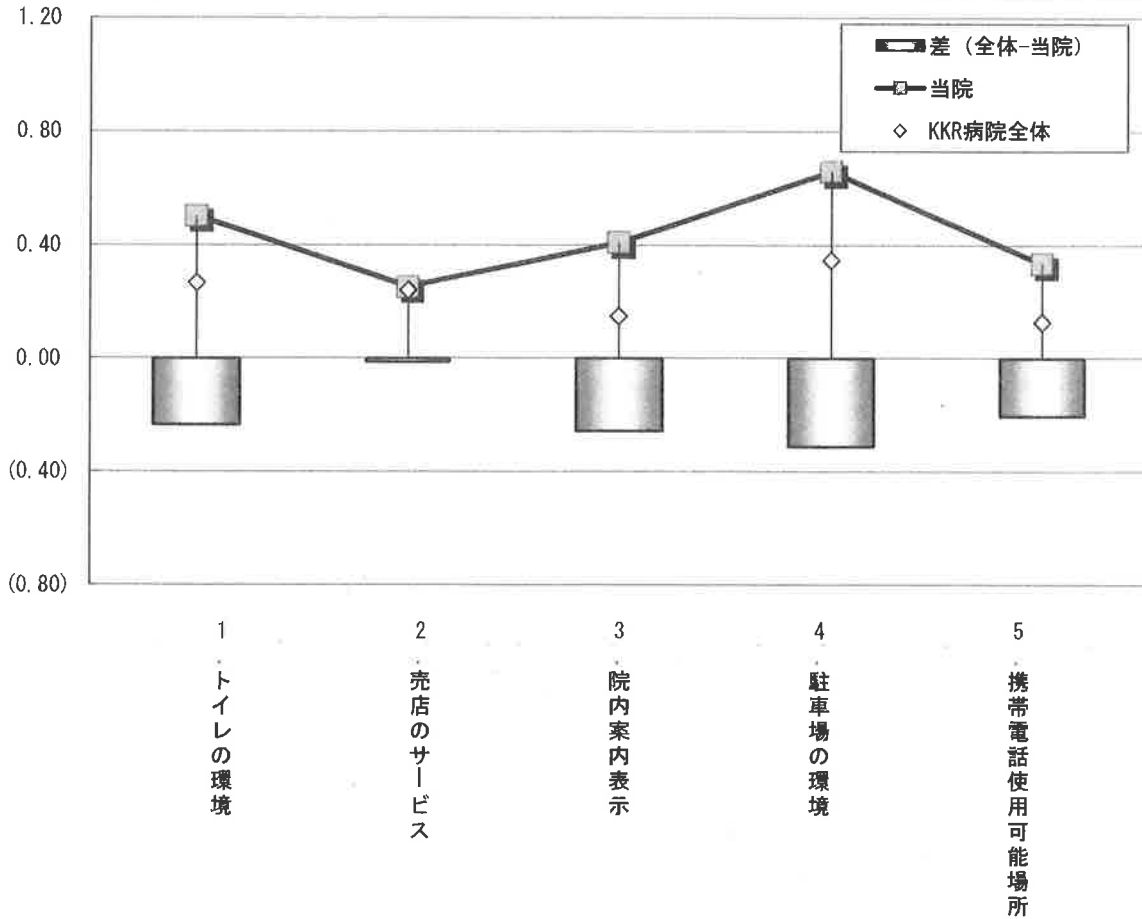
※このページのグラフは、外来患者に対し、施設等についての改善要望を質問した結果を示している。比率の算出にあたっては、無回答者を除いている。

問5

【外来】

問5 施設等について改善する必要があると思う項目すべてにマークをつけてください。

1. トイレの環境 2. 売店のサービス 3. 院内案内表示
4. 駐車場の環境 5. 携帯電話使用可能場所



※このグラフでは、次の算式で当院、KKR病院全体の回答を数値化し、その結果と両者の差を表示している。
 Σ (改善の必要ありとの回答数) / 回答者数(無回答者を除く)

※このページのグラフは、各設問別に見た外来患者の施設等に対する「改善要望」を数値化したうえで、当院とKKR病院全体とを比較している。この場合、「差」の棒グラフの数値が正であれば、当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。

【外来患者からの施設等に関する改善要望】

どれくらいの割合の人が施設等に対して改善を求めているかを表す改善要望率を見ると、「駐車場の環境」が45.3%、「トイレの環境」が37.4%と何らかの改善を求めている患者の割合が非常に高くなっており、大きな課題があると考えられる。内訳を見ると、要望が特に多いと考えられる20%を上回るものは、「駐車場の環境」の「料金」となっている。

【KKR病院全体との比較（外来患者からの施設等に関する改善要望）】

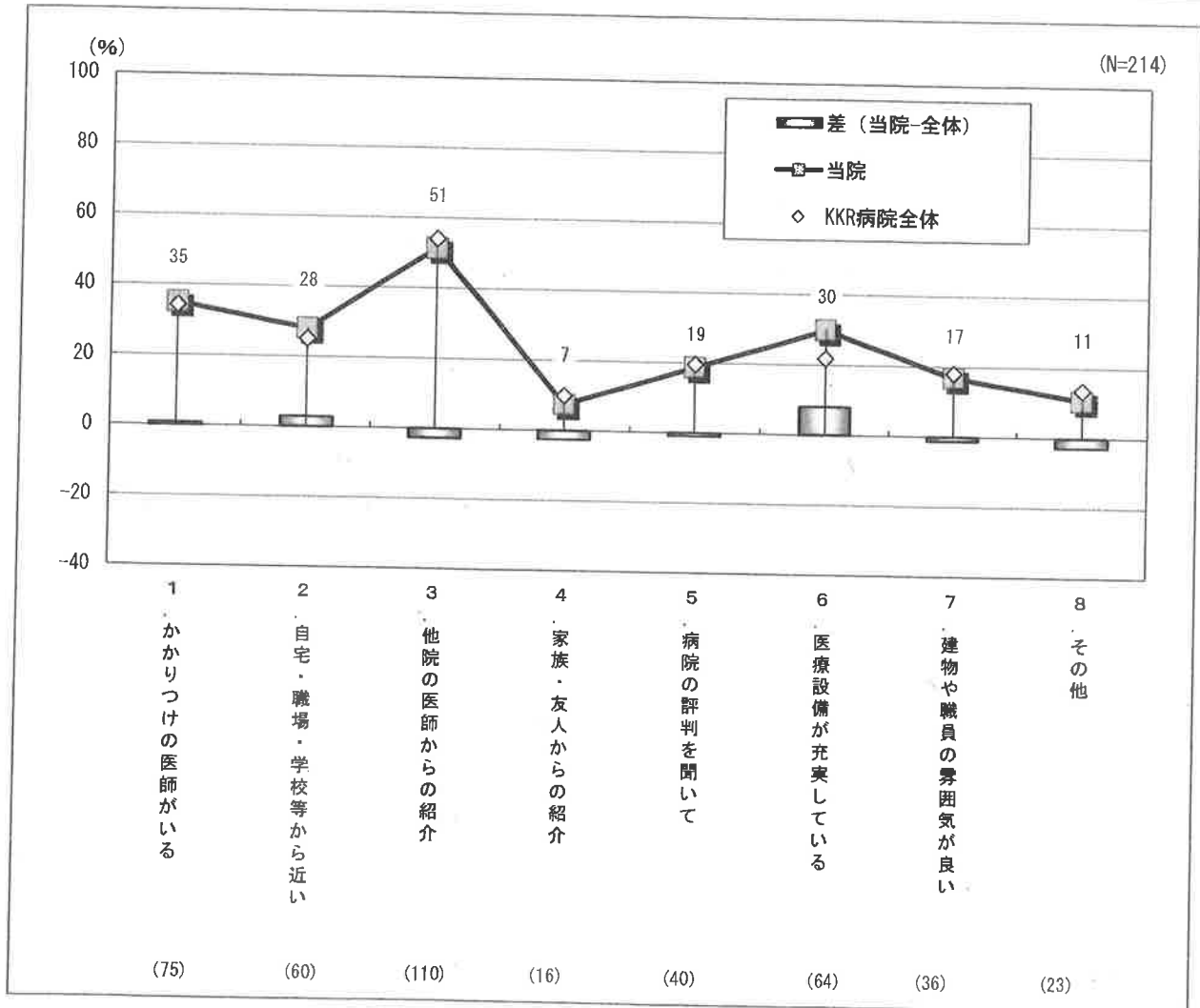
施設等に関する改善要望は、KKR病院全体に比べて、特に「院内案内表示」「駐車場の環境」が多くなっている。

【ポイント】

施設等に関する改善要望は、KKR病院全体に比べて、特に「院内案内表示」「駐車場の環境」が多くなっている。改善要望率では、「駐車場の環境」が45.3%となっている。内訳も「料金」が22%、「台数」が20%となっており、改善の必要がある。時系列比較では、「院内案内表示」に対する改善要望率が、2023年の31.3%から、2024年の25.1%へ減少しており、良い傾向であると考えられる。

問6 入院
問6 当院を選ばれた理由について当てはまる項目すべてにマークをつけてください。

1. かかりつけの医師がいる 2. 自宅・職場・学校等から近い
 3. 他院の医師からの紹介 4. 家族・友人からの紹介
 5. 病院の評判を聞いて 6. 医療設備が充実している
 7. 建物や職員の雰囲気が良い 8. その他



※このグラフは、入院患者について、当院を選んだ理由、そのKKR病院全体の平均値を、100分比で表している（ただし複数回答である）。また、当院とKKR病院全体との差も、同時に示している。
 ※各項目の下の（）内の数字は各項目に対する回答数（複数回答）を、プロット付近の数字は問6に対する回答数（無回答を除く）に占める比率を示している。なお、問6に対する回答数（=N）はグラフの上段右端に記載している。
 ※このページのグラフは、「差」の棒グラフの数値が正であれば、当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。比率の算出にあたっては、無回答者を除いている。

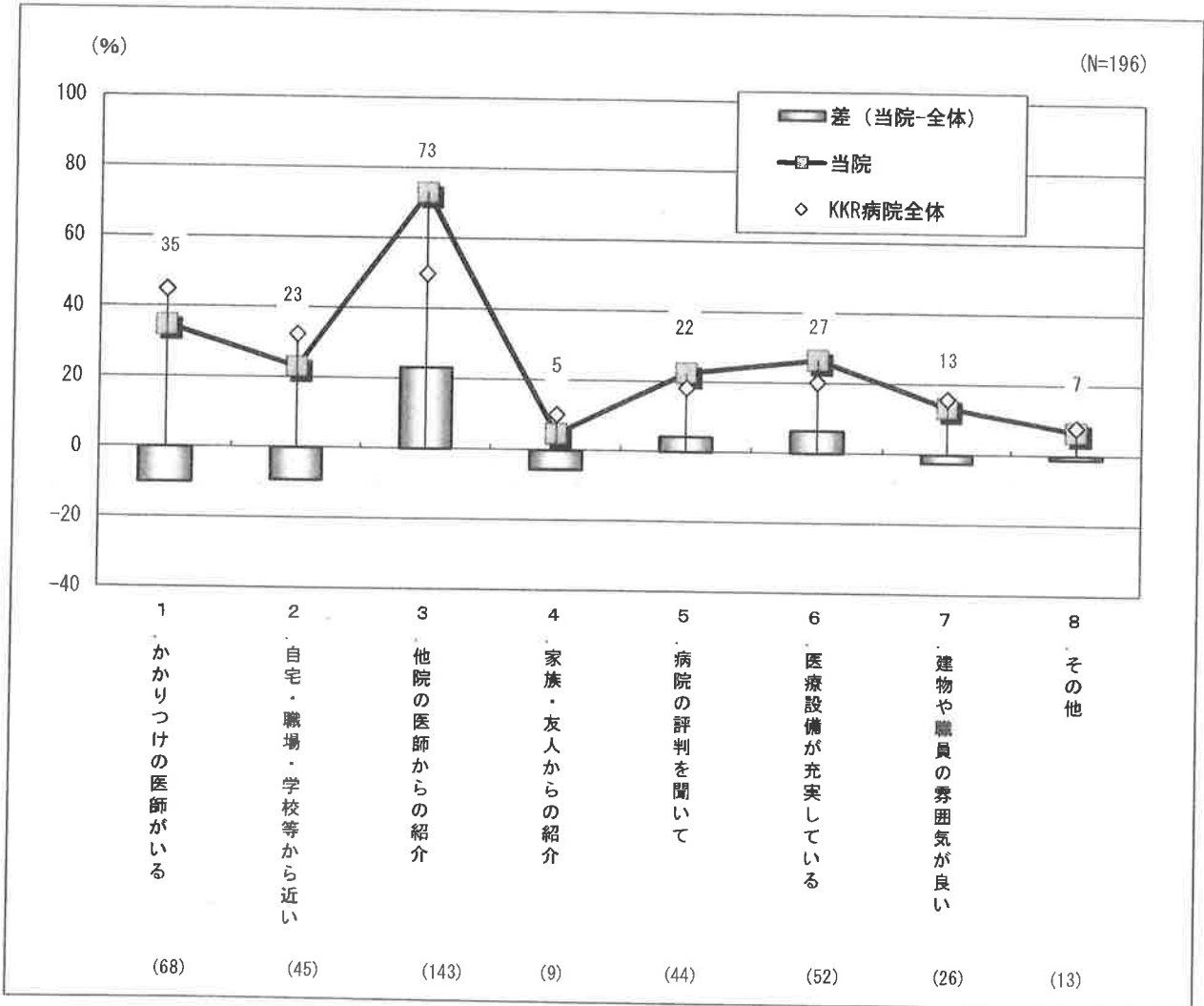
【KKR病院全体との比較（入院患者が当院を選んだ理由）】
 入院患者が当院を選んだ理由は、KKR病院全体に比べてどの設問もほぼ同水準となっている。

【ポイント】
 入院患者が当院を選んだ理由については、「他院の医師からの紹介」が51%と最も高くなっている。次いで「かかりつけの医師がいる」が35%と高くなっており、その次に「医療設備が充実している」が30%となっている。KKR病院全体と比較するとどの設問もほぼ同水準となっている。時系列比較では「かかりつけの医師がいる」が増加しており、一方、「他院の医師からの紹介」「医療設備が充実している」が減少している。医療そのものの信頼が来院理由に影響を与えていると考えられるため、今後も、他院の医師からの信頼を維持・向上させていくとともに、さらに信頼感を高めるような連携や情報交流を進めていくことが期待される。

問 6
【外来】

問 6 当院を選ばれた理由について当てはまる項目すべてにマークをつけてください。

1. かかりつけの医師がいる 2. 自宅・職場・学校等から近い
 3. 他院の医師からの紹介 4. 家族・友人からの紹介
 5. 病院の評判を聞いて 6. 医療設備が充実している
 7. 建物や職員の雰囲気が良い 8. その他



※このグラフは、外来患者について、当院を選んだ理由、そのKKR病院全体の平均値を、100分比で表している（ただし複数回答である）。また、当院とKKR病院全体との差も、同時に示している。
 ※各項目の下の（ ）内の数字は各項目に対する回答数（複数回答）を、プロット付近の数字は問6に対する回答数（無回答を除く）に占める比率を示している。なお、問6に対する回答数（=N）はグラフの上段右端に記載している。
 ※このページのグラフは、「差」の棒グラフの数値が正であれば、当院の評価がKKR病院全体より高いことを意味し、逆に負であれば当院の評価が低いことを意味する。比率の算出にあたっては、無回答者を除いている。

【KKR病院全体との比較（外来患者が当院を選んだ理由）】
 外来患者が当院を選んだ理由は、KKR病院全体に比べて特に「他院の医師からの紹介」が高くなっている。

【ポイント】
 外来患者が当院を選んだ理由については、「他院の医師からの紹介」が73%ともっとも高くなっている。次いで「かかりつけの医師がいる」が35%と高くなっている。KKR病院全体と比較すると特に「他院の医師からの紹介」が高くなっている。時系列比較では「他院の医師からの紹介」が2023年の62%から、2024年は73%に増加している。医療そのものの信頼が来院理由に影響を与えていると考えられるため、今後も、他院の医師からの信頼を維持・向上させていくとともに、さらに信頼感を高めるような連携や情報交流を進めていくことが期待される。